



すたなび

NO. 16

辰美小学校

家庭学習の手引き(その2)

小学校 3・4年生 (学習時間のめやす 30~60分)

自主的な学習習慣を身につけさせる

3・4年生では・・・「知りたい」「学びたい」

自立心が芽生えてくるとともに、自分でやろうとすることが多くなり、「やる気」や「根気」が育つ時期です。語彙(言葉)の習得能力が高くなり、抽象的な思考ができるようになっていわれています。

「急に勉強が難しくなった」という戸惑いや苦手意識を持つ子どもも出てきます。自信を持たせたり意欲をふくらませたりするような励ましが大切です。

学習の特徴

- 総合的な学習の時間や社会、理科の学習が始まり、学習する内容も大きく広がります。
- 国語辞典や漢字辞典、地図帳などの使い方を学び、自分で調べる学習をすることが多くなり、自学自習の基礎を学びます。
- 算数では、四則計算(+)、(-)、(×)、(÷)の基礎・基本を徹底して学ぶとともに、分数や小数など少しずつ抽象的な内容も学ぶようになります。



家庭での援助

- ◆家族でのあたたかい助言や励ましの言葉でやる気を起こしたり、宿題や持ち物を点検したりするなどの手助けが必要です。徐々に自分でできるように支援していきましょう。
- ◆自分から机に向かう姿勢を育て、集中して取り組む習慣をつけさせることが重要です。
- ◆学習をする前に、学習する場所の整理整頓を行い、自分で今日の宿題を確認させ、必ずやりきらせましょう。学校からのお便りなどを親に手渡す習慣をつけましょう。
- ◆社会や理科で勉強する地域社会の文化や産業、自然(植物・昆虫など)などにふれる体験をさせましょう。

小学校 5・6年生 (学習時間のめやす 50~90分)

自学自習の習慣を身につけさせる

5・6年生では・・・「主体的な学び」へ

生活のリズムの乱れは学習習慣にも影響を及ぼします。もう一度生活習慣を見直し、計画的に学習を進めることが重要です。学習に対する意欲や興味・関心を高めるために、先生や家族の言葉かけが大切になります。目標を決めて、努力できるように、あたたかく見守りながら励ましましょう。

学習の特徴

- 学習内容が多くなり、論理的な内容や抽象的な思考を伴う学習が増えます。
- 筋道を立てて考える力や広い視野で物事を見る力が必要になります。
- 家庭科の学習が始まり、衣食住の基礎・基本を学びます。
- 自ら学ぶことのおもしろさや楽しさを経験することで、ものの見方や考え方を身につけることができます。



家庭での援助

- ◆考える力が大人並みになり、時には大人への反抗も見られるようになります。
- ◆「やればできる」という気持ちを持たせ、子どもの自尊感情を育てるように、ほめたり、励ましたりすることが大切です。
- ◆家族の一員として、お手伝いや役割を決め、家庭科などで学習した内容を生活の中で実践したり、生かしたりすることができるようになりましょう。
- ◆学習する場所を決め整理整頓し、計画を立てて学習が進められるようにしましょう。
- ◆新聞やニュース番組を一緒に見て、社会の事象に関心がもてるようにしましょう。

お聞かせください!

これから月1回程度で「すたなび」を発信していく予定です。もし、お家で困っていることやこんなことが知りたい!こんなことを載せてほしい!ということがありましたら、お書き下さい。(出していただくときは、周りの点線部分を切り取って、担任に渡してください。)

()年 保護者

